

住 民 登 録

2月1日現在

人 口	78,403	-37
前月比		
男	37,703	
女	40,700	
世帯数	19,311	+30

おおだて

編集と発行—大館市役所
 発行年月日—昭和45年3月1日
 発行日—毎月1日
 定価1部5円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

2日に1回の出動・・・

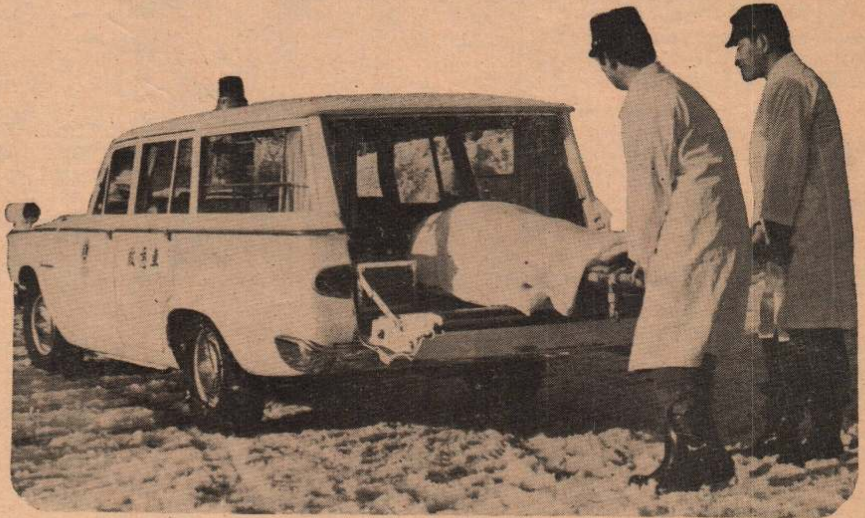
44年 救急白書

「119番デスク！祝迎内出張所前デ交通事故ガアリ 運転手が重体デス、救急車ヲオネガイシマス」——

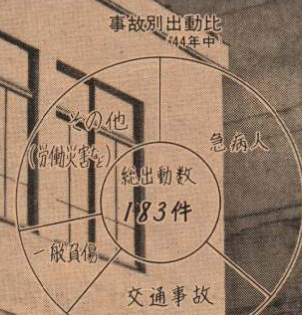
という電話を受けとるやいなや、ケタマシサイレンを鳴らした救急車が、あふれる車をかきわけて現場に直行する。現場に到着と同時に、テキパキと応急手当をほどこし、一刻も早く病院に運ばねばならない乗務員（消防署員）の仕事は重大です。それだけに乗務員の神経の使い様も大変なものがある。

苦しさにわめく声を背に、負傷者の安態を祈りながら病院に手わたすと、ひとまずホッとする。

救急のための出動は、昼夜の別なく要請される。いつでもどこで、どんな事故が発生するかわからない。いわゆる24時間の勤務体制化にある救急車は、市民の安全を守るため今日も待機しつづけている。



(写真) タンカ、酸素吸入器が装置されている救急車



<急病人のための出動がトップ>

市の救急業務は、40年10月15日、ライオンズクラブから寄贈された救急車の配置によってはじまった。救急業務を開始してから、44年までの出動回数および搬送人員は左の線グラフに表われているように、年を追うごとに急上昇してきている。

まず、44年中の救急白書から、どんな事故に出動しているかを調べてみると、つぎのような順序になる。

()内は搬送人員

1位	急病人	72件 (72人)
2位	交通事故	46件 (67人)
3位	一般負傷	20件 (21人)
4位	労働災害	7件 (7人)
5位	自損行為	6件 (6人)
6位	運動競技	3件 (3人)
7位	犯罪	2件 (2人)
〃	水難	2件 (2人)

となっており、その他として、よっぽらのいたずらによる出動などが25件(25人)で、44年中の総出動は183件(搬送人員にして205人)になり月平均の出動回数は15・2回になる。

したがって、2日に1回の割合で救急車が出動している計算になる。

つぎに、月別の出動状況を見ると、一番多い月は7月の27件、つづいて5月の19件、10月の18件、1月と8月の15件の順になっており、一番少ない月は2月の10件という結果がでている。

以上は44年中の救急白書から、その数字をいかんなく記したものです。現在では急患者のほとんどを市立病院に運んでいるものの、患者の希望もあって、病院の行き先もさまざまであるため、救急業務にたずさわる係員がとまどうことさえあるそうです。

とにかく、交通事故や自分のからだに十分注意し、救急車がヒマでアクビをしているような日々が多くあることを祈りたい。

火 事 救 急 車 → 119 番 へ

統合「東中」(三中・長木中)は 市内随一の近代校舎に

統合市立南中学校につづく2番目の統合中学校が、45年度から3カ年計画で現在の第三中学校敷地に建設されることになりました(12月定例会議で決定)

この統合中は、現在の市立第三中学校と市立長木中学校が統合するもので、新しい学校名も「市立東中学校」と正式にきまっております。

市の教育委員会では、この東中学校の建設がきまると同時に、伊藤教育長を先頭に長木中の父兄に2回、さらに第三中学校の父兄に1回、それぞれ統合中学校のねらいや、新校舎の青写真等について説明会を催しました。そして両校の父兄と十分な対話を深めたところ、両校とも心よく納得し、できるだけ早く新校舎を完成させて欲しいという、積極的な姿勢をみせています。

ところで、市内では初の鉄筋コンクリート4階建て校舎の特長についてふれてみたい。

- ◆市内の小中学校では初めての4階建てである。
- ◆体育館を2階にし、体育館の下は騒音をはげしい工作室などの特別教室にあて、授業に影響をあたえないようにする。
- ◆また、体育館の床面積は市立中学校随一で、その面積は県立大館鳳鳴高校の体育館に匹敵し、正式なバスケットボールのコートが2面もとれる広さである(約330坪)
- ◆現在の両校の学級数はあわせて18学級になるが、将来の生徒数の自然増を考慮し、21学級(教室)の設計をしている。
- ◆冬期間の暖房は必ずステーム暖房で行なう。
- ◆音楽室 理科室、技術室の各2教室をはじめ美術室などの特別室はいままでとちがって、広く、ゆったりとしたとってあるほか、相談室が各階ごとに設けられている。

以上、新校舎の特長についてその要点を述べましたが建設費に要する約2億5,000万円の捻出や長木からの通学道路の開通問題は新年度(4月)になってから皆さんにお伝えしたい。

＜米の生産調整＞

本市の割当は1,365.4トン



米の生産調整問題が大きな話題になっている。

政府の考えでは米の消費が減退している反面、生産が増加しているため作付転換等によって米の生産調整を推進しなければ食糧制度を維持できないという考えに立て、この政策を打ちだしたものです。

この政府の方針に基づいて、さる2月7日、県庁で開かれた2回目の「県米生産調整対策協議会」で、秋田県が試算した県内各市町村への生産調整目標数量が明示されました。

これによると、秋田県全体で43,000トンのうち、本市に割当てされたのは1,365.4トンになっています(293.7ヘクタール)

この割当では、大館市の44年度平均反収462kg(農林統計調査)をもとに算出されたものであって、これを達成するためには、およそ293.7ヘクタールの減収が必要であり、全水田面積の7.14%になります。

しかし、これはあくまでも44年度平均反収の462kgでありますので、この反収より低い水田では、さらに減収面積が増加してくるようになります。

ところで、生産調整補助金は、農業共済組合の実収基準反収が用いられることとなりますので、その基準収量は280kg～580kgまでの段階があります。(平均が456kgになる)したがって、生産調整による補助金は最低22,680円、最高が46,980円で、平均して37,179円になる見込みです。

一方、この米の調整問題に対する農家の方々の意見も複雑ですが「過剰米を招いた責任は政府にあるもの、食糧制度を守り、将来の農業発展のためには協力しなければならないだろう」という意見もあり、2月25日市に設置された「米生産調整推進協議会」では減産に協力することを確認し今後は、この生産調整目標を円滑に行なうための検討を加えていきます。そしておそくとも種子の浸水に入る3月の上旬ごろまでには結論を出したい意向ですので、農家の皆さんのご協力をお願いします

議会の活動

●議会運営委員会

1月21日 1月26日招集された第1回議会定例会期および議事日程について協議しました。

●総務財政常任委員会

1月22日 閉会中の審査を付託されていた請願、陳情について継続審査と決定したほか土地の処分(同和鉱業関係)、土地の取得(桂高校関係)について、市当局の説明を聞きました。

●建設水道常任委員会

- 1月22日 閉会中の審査を付託されていた請願、陳情のうち、次の5件は採択と決定しましたが、その他は継続審査と決定しました。
- (1)陳情第15号 農道の市道編入について(水門町地区)
 - (2)陳情第16号 花岡沢林道の拡布改良工事について
 - (3)陳情第23号 新沢地区の県道舗装促進について
 - (4)陳情第26号 道路舗装工事について(小館花地区)
 - (5)陳情第29号 高館橋架替えについて(松木部落)

●教育産業常任委員会

1月23日 農林水産施設(杉沢水路ほか5カ所)の災害復興事業に関する債務負担行為について、市当局の説明を聞きました

●第1回議会臨時会

1月26日に招集された第1回議会臨時会は、当初1月28日までの3日間の会期で開会されましたが、その後会期を1月30日まで2日間延長して、都合5日間の会期をもって、付議事件の審議にあたりました結果、同和鉱業への土地処分(花岡町屋敷916.462㎡)、秋田県住宅供給公社への土地処分(狐台45.336㎡) 桂高校移転用地の取得(根戸道下55.153㎡) およびこれらに関する一般会計補正予算案の以上4件は、いずれも原案のとおり可決されました。

また教育産業常任委員全員の発議による「農業政策に関する意見書」(全国一律減反反対を含む)についても、満場一致で可決され、政府関係機関にそれぞれ提出することになりました。

●公証対策特別委員会

2月6日 全国市議会議長会公害対策特別委員会において、問題点として取り上げられ、政府関係機関に要望、陳情した事項について、報告あったほか、付託事項の調査日程について協議しました。

今年の固定資産税

土地は一斉評価替えされました

45年度の固定資産税は、1月1日現在で土地、家屋、事業用債却資産を所有している人に課税されます。

この課税にあたっては、国で定めた評価基準によって算出した課税標準に100分の1.4を乗じた額が、固定資産税として課税される仕組みになっています。

本号では、全国一斉に評価替えを行なった土地の評価額を中心にお伝えし、固定資産税に対するご理解とご協力を得たいと思います。

＜家屋＞

ことしは、経過年数等に応じ、それぞれ経年減価を行ないましたので、従来からの家屋の評価額は減価しております(耐用年数等を経過した家屋を除く)

※新築家屋の課税特例

44年中に新築した住宅で、居住のために使用している部分が100平方メートル以下の場合、その家屋に課税される固定資産税は3年間、2分の1が減額されます(併用住宅等では、人の居住に使用している部分)

＜償却資産＞

45年1月1日現在の価格がそのまま課税標準になります。

＜農地＞

44年度の評価額が、そのまま45年度以降の課税標準になります。

＜土地＞ 宅地・山林・原野(農地を除く)

前述のとおり、45年度の固定資産税の評価額は、自治大臣の定めた評価基準によって、全国一斉に評価替えが行なわれました。

現在の評価額は、39年度の評価額がそのままですおかれていた結果、土地については、地価の高騰が反映しているため、45年度の評価額もそれぞれ上昇しております。

しかし、税負担の急激な増をふせぐため、45年度以降の固定資産税はいままでどおり、つぎの負担調整措置が構じられます。

上昇率	負担調整率	課税標準の出し方
3倍未満	1.1	昭和38年度の評価額に対する45年度評価額(新評価額)の上昇率の区分に応じて、左記の負担調整率を、前年度分の課税標準額に乗じて得た額が45
3倍以上8倍未満	1.2	
8倍以上	1.3	

年度の課税標準になります。

＜計算例＞

38年度評価額 坪当たり1,000円(負担調整率1.3)
45年度評価額 坪当たり9,000円 (6倍)
44年度評価額 坪当たり3,000円

とした場合の45年度～47年度の課税標準額は
45年度課税標準額3,000円×1.3=3,900円
46年度課税標準額3,900円×1.3=5,070円
47年度課税標準額5,070円×1.3=6,590円

＜免税点＞……固定資産税がかかりません。

土地や家屋を所有していても、課税標準額の合計がつぎの額を下まわる場合は、固定資産税がかかりません。

土地	8万円未満
家屋	5万円未満
償却資産	5万円未満

＜固定資産台帳をみましょう＞

3月1日から3月20日まで、税務課において固定資産台帳をお見せします。

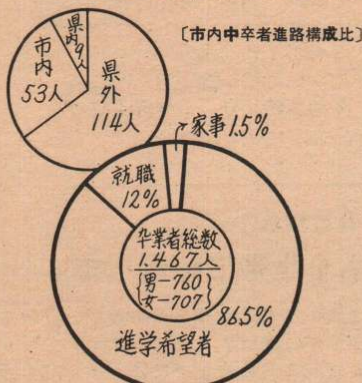
(日曜、休日を除く、午前9時～午後5時)
この台帳をみて、課税台帳に登録されている事項について不服がある場合は、3月1日から3月30日の間に固定資産評価審査委員会に審査の申し出をすることができます。

税務課では、縦覧の便宜をはかるため、本庁から比較的遠距離にある地区に向いて縦覧に供しますから、該当地区の方はこの日をご利用ください。

該当地区	縦覧場所	縦覧日
真中地区	真中出張所	3月11日・12日
二井田地区	二井田出張所	3月13日・14日
十二所地区	十二所出張所	3月16日・17日
花矢地区	花矢支所	3月18日・19日

中卒者の就職・進学状況

少ない市内就職希望者



ことしも各学校の卒業期を迎えました。ことし市立中学校を卒業する生徒は1,467人、昨年の卒業生数に比べ118人の減になっているものの高等学校等への進学希望者は昨年より5.8%の増になっています。

一方、就職希望者はどの学校とも、進学への波にのたせもあり、昨年にくらべ7.4%も減っております。

中でも、市内へ就職を希望している生徒が、昨年の就職希望者数の105人から50%も減って、53人より少ないということは、市内の中小企業経営者にとっても大きな問題ではないかと思われまふ(県外就職は、今年も昨年と同様で114名が希望している)

進学される方々の今後の努力に期待するとともに、若年にして未知の社会へ巣立つ就職希望者の方々に対しては、経営者はもちろんのこと、市民皆んなであたたかく迎え、良い環境のもとに彼らの能力を十分にばしていく陰の力にならうではありませんか。

<市立中学校別進学・就職の状況>.....2月1日調査

学校名	卒業生数	高校進学希望者数	県外就職者	県内就職者	市内就職者	家事従事者
第一中学校	384	341	23	3	17	0
第二中学校	158	140	12	0	5	1
第三中学校	198	182	8	0	6	2
長木中学校	65	55	0	0	10	0
雷沢中学校	27	2	2	0	1	3
下川治中学校	48	41	3	1	0	3
上川治中学校	33	26	1	0	2	4
南中学校	138	111	2	2	1	2
成章中学校	150	109	24	1	10	6
花岡中学校	188	177	11	0	0	0
矢立中学校	78	66	8	2	1	1
計	1,467人	1,269人	114人	9人	53人	22人



成人病をなくしましょう

成人病といわれる脳卒中、がん、心臓病は、社会的にも家庭的にも中心となっている年齢層の人びとに多くしかも、死亡順位の上位にあります。

本市で、44年中の成人病で死亡した人を調べると

脳卒中	155人
がん	88人
心臓病	71人

となっており、いぜんとして死者全体のしめる割合が多くなっています。

このような現状にあって市では成人病を防ぐため、つぎのことが十分に注意されるよう呼びかけています。

- (1)規則正しい生活をする。
無理のない仕事をし、適当にからだをやさめ、ぐっすりねむるようにする。
- (2)食べものは、かたよらないよう、栄養のバランスを考える。
とくに塩からいものをさけ、生野菜を食べる
- (3)寒さはどんな病気にもよくないから、部屋を暖かくするよう工夫する
- (4)精神の安定をはかり、酒、タバコはあまりのまいようにする。
- (5)定期的な健康診断をうけるとか、市で毎月行っている健康相談日を利用するなどして、早く病気を発見し早く治療する。

幼児には日光浴を

春とはいっても、まだ日光も弱く、つい部屋にとじこもりがちです。おとなの健康管理のうえからはもちろん幼児にとっても日光浴はたいせつなことです。

とくに、幼児にとっておそろしいのはクル病にかかることで、これをふせぐには日光浴がいちばんです。日ごとに春めいてくるこれからの季節には、できるだけ戸外に連れ出して日光にあてるようにしましょう。

一心貯蓄組合が表彰される

44年度貯蓄優良団体として、一心町貯蓄組合(代表者、泉アイさん)が秋田県知事と県貯蓄推進委員から表彰を受けました。

晴れの表彰を受けた一心貯蓄組合は昭和40年に設立され、はじめは、100円毎月貯金からスタートしたものの、そのご各家庭の貯金目的も教育資金とか結婚資金に変わり、貯金額も各家庭によってちがってきておりますが、町内の方々のほとんど(125名)が毎月かかさずに、気ばらず、手まめに力を合せて貯蓄の習慣をつけたことが大いに認められたものです。

44年の一世帯当りの全国平均貯蓄額は109万円だそうです。わが秋田県は77万円で、全国平均を大幅に下まわっております。

一心町の受賞を契機に、みなさんもムダをはぶき、将来の幸せのため貯蓄にもっと目を向けようではありませんか。



万国博を楽しく見学するために

万国博の楽しい見方

日曜、祝祭日には約60万人の観客が予想され、会場内は相当混雑するうえ、会場周辺では大規模な道路交通のマヒや、駐車場の不足が考えられます。

そこで、万国博をより快適に楽しくご見学いただくために

- (1)なるべく平日にご覧ください。ナショナルデーや、スペシャルデーの催しは、平日にあります。
- (2)マイカーはなるべくおさげください。
- (3)入場券はさきで購入しておいてください。会場入口の入場券発売所は相当混雑しますので、ご出発前に近所のタバコやさん、駅の売店、プレイガイドでお求めください。
- (4)ラッシュ時間帯はさげましょう。

(万国博覧会・広報部)

「人類の調和と進歩」をテーマに、アジアでは初めての万国博が、3月15日から9月13日まで大阪の千里丘陵で開かれます。

人類文化のオリンピックともいわれるこの万国博は、世界の国々がいろいろな趣向をこらした展示館を建設し、その国の産業、文化を紹介し、お互いに交流しあう意義深い祭典です。

参加国79カ国、会場の面積が330万平方キロ(約100万坪)は史上最大を誇るもので、全館の内部をザッと見るだけで50時間以上必要だそうです。したがって、午前9時から午後5時まで1日8時間見てまわったとしても6日間かかる計算になります。

日本万博メモ

- テーマ——人類の進歩と調和
- 参加国——世界79カ国
- 会期——45年3月15日～9月13日
- 会場——大阪府吹田市千里丘陵
- 面積——約330万平方メートル
- 入場者予想——約5,000万人
- 入場料——大人 800円(23才以上)
 - 子ども 400円(4才～14才)
 - 青年割引 600円(15才～22才)
 - 夜間割引(午後5時以降の入場者)
 - 大人 400円
 - 青年 300円
 - 子ども 200円

<家庭教育学級の合同研修会>

家庭団らんの意義など学ぶ

(写真は)

城西小学校の佐々木美子ちゃんが作詞、作曲した「おへそ」のうた(全国的に流行しています)のけいこしているもよう。



2月7日、市民体育館を会場に、城南、城西、有誹地区の合同家庭教育学級(子どもをこまめに勉強する親の会)が開かれました。

この日は、父母とその家族が約50人ほど集まり、三地区を担当している学級主事を講師に魅力ある家庭づくりの講話や家庭におけるレクリエーションの実技など、3時間にわたって勉強しました。

家庭団らんの講話の中で講師が語られた「家庭の団らんをこわすのは、母親よりもむしろ父親の方に多くあるので、父親はまず、家庭団らんの意義をかみしめ、1週間一度でもいっから、家族会を開くなどして、お互いの理解を深めるようにすべきだ」というお話が目玉されました。

<災害市営住宅>

入居者を募集します

2丁目大火のあと、市がその工事を進めている災害公営住宅は、6月上旬ごろに完成する見込みですので、つぎの要項で入居者を募集します。
なお、この住宅は御成町大火の罹災者を公募の対象になりますので、申しそえます。

(記)

- ◆ 住宅名 ○ 市営御成町住宅
- ◆ 入居資格 ○ 御成町2丁目大火の罹災者で、住居をなくしたもので、現在市内に住所または勤務先を有する者。
○ 現在同居し、または同居しようとする親族があること。
○ 入居申込した日において月額4万円以下の収入であること。
- ◆ 種別と戸数 ○ 第2種住宅48戸 1戸の間取り【6畳、4.5畳、台所物置(浴室に転用可)トイレ付】
- ◆ 構造 ○ 第2種中層耐火構造5階建(1階は店舗になります)
- ◆ 申込方法 ○ 市営住宅使用申込書に所定の事項を記入し、建設課庶務係に申し込むこと。申込用紙は建設課にあります。
- ◆ 選考方法 ○ 市営住宅入居者選考委員会において決定します。
- ◆ 家賃 ○ 月額5,000円~6,000円の予定
- ◆ 入居時期 ○ 45年6月上旬の予定
- ◆ 申込期間 ○ 45年3月15日~3月25日(土曜の午後、日曜日、祭日は除く)

<中小企業の皆さんへ>

機械を貸し付けします

45年度の中小企業機械貸付を希望する方は、つぎにより申し込んでください
(記)

- ◆ 対象者 市内に工場または事業所を持つ中小企業者で、市税完納者
- ◆ 貸付機械類 工場の生産、加工、試験、検査に使用する機械器具および装置
- ◆ 貸付条件
 - ① 台数 一業者につき1台
 - ② 機械の価格 10万円以上50万円まで
 - ③ 貸付料 機械価格に6%を加算した金額
 - ④ 償還期間 5年以内
 - ⑤ 譲渡 貸付料を全納したときは無償で譲渡します
 - ⑥ 保証人 大館市民で保証能力のある者2名
- ◆ 申込期限 3月20日
- ◆ 申込場所 市役所商工課(申込用紙は商工課にあります)その他、くわしいことは商工課にお問い合わせください。

請求は今月いっぱいデス

引揚者と北方季節労働者への交付金

昭和20年8月15日の終戦まで、1年以上外地に生活の本拠をもっていた人または、昭和19年以前からカムチャッカに漁業労働者として出稼ぎに行き終戦後に引揚げてきた人に対して(終戦後、引揚前に死亡した人も含む)国では、引揚者特別交付金を支給しています。

この交付金の請求期限は、3月31日までで、この日以降は時効によって請求ができなくなりますので、あなたの知人にこのような方がおりましたら、早やめに市の福祉事務所ですぐ手続きするよう、呼びかけしてください。

◆ 支給される給付金の額 (年令は終戦時の年令)

	(生存者)	(死亡者)
50才以上	16万円	11万2,000円
35才~50才	10万円	7万円
25才~35才	5万円	3万5,000円
20才~25才	3万円	2万1,000円
20才以下	2万円	1万4,000円

※この額は10年にわたって支給される額ですが、外地に8年以上いたる人に対しては、この額に1万円が加算されます。

◆ 請求できる人

引揚者本人・引揚者が死亡している場合は配偶者、子、父母、孫

交通事故 巡回相談日

とき 3月11日(水)
ところ 市民相談室
じかん 午前9時30分~午後4時

県の交通事故相談所から係員が来庁し、賠償問題、示談、調停、訴訟手続などについてご相談に応じます。

<予防接種の日程表>

今年も全世帯に配付します

市の厚生課では、今年も1年分の予防接種の計画日程表を作成し、全世帯に配付する準備をすすめております。この日程表は、3月の末までには、各町内の行政協力員を通じて配付されますが、3月の末になっても届かないお宅がありましたら、厚生課に連絡ください

NHKにあなたのご意見を

「NHKにも申す」

こういう気持ちもたれることがありでしょう。10人10色といわれるように、毎日のおびただしい放送番組のひとつひとつに、人それぞれのご意見があるはず。テレビやラジオが、みんなのものであり、あなたのものとなるために、NHKは全国各地の放送局に「NHK相談室」をおき、また、聴視者懇談会や世論調査、モニターなど、いろいろなかたちで、NHKのすべてについて毎日たくさんの方の意見をうかがっております。「NHKにも申す」……NHKに対するあなたのご意見をお寄せください。皆さんのご意見は、NHKの進路をきめる大きな原動力でもあります。

秋田市山王1丁目1~2 NHK相談室 (NHK秋田放送局)

UHFテレビが見られます



UHF電波AKT秋田テレビの大館中継局が完成し、2月7日から57チャンネル(大館局)で本放送が開始されています。

大館中継局の場所は北秋田郡田代町の大山、海拔359mの山頂にそびえる14mの鉄柱は、大館、北秋の2万4000世帯のアンテナエリアをもっています。

<きれいに受信するために>

- ① UHFアンテナは秋田テレビの中継局に正しく向いていますか
- ② コンバーターかオールチャンネルテレビのUHFダイヤルの目盛りは、合っていますか。
- ③ フィーダー線は、しっかり取り付けられていますか。

以上の条件がそろわないと画像がゆがんだり、音声がないことがあります。お近くの電機店にご相談のうえ、正しく取り付け、目盛りを合わせてあざやかなカラーと番組をお楽しみください。

近距離電話は夜間割引になりません

夜間の近距離電話(大館から60km以内)は割引されません。割引にならない地域はつきのとおりですので、お違いのないようにしましょう。

比内・十二所・大葛・花岡・早口・花輪・毛馬内・小坂・八幡平・鷹巣・上小阿仁・能代・鹿渡・上岩川・下岩沢・沢目・鶴形・常盤・富根・八森・八竜・檜山・藤琴・二ツ井・森岳・弘前・碓ガ関・石川・板柳・梅沢・大浦・大館・尾上・金木・黒石・五所川原・猿辺・三戸・諏訪平・相馬・田子・鶴田・長橋・七和・浪岡・陸奥上郷・目屋~の各局内です。(大館電報電話局)

(無料)

健康相談日

……市民の健康を守る市の仕事です

会場別	秋田内出張所	長木公民館	上川沿公民館	下川沿公民館	真中公民館	二井田公民館	十二所公民館	花矢公民館 (4月から支所)	矢立診療所	摘要
国保の健康相談日	3月2日 4月6日	3月5日 4月2日	3月17日 4月21日	3月18日 4月22日	3月4日 4月1日	3月3日 4月7日	3月6日 4月3日	3月16日 4月20日	3月19日	●時間 午後1時~3時 血圧測定・育児相談、家族計画のご相談に応じます。